

2015 年 10 月 21 日

## 2015 年度前期授業評価のまとめ

教務学生委員会

今年度前期の授業アンケート調査の結果を要約し、今後の課題について確認する。後期に授業を実施したほとんどの基幹教員から回答が得られており、参加率は非常に高い。概要を以下に記す。

授業区分	授業登録数	回答数	回答率 (%)	設問 III-I: 授業満足度					設問 III-II: 授業達成度				
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
研究科 共通科目	166	137	83	0	4	16	69	48	1	3	18	62	53
DID	128	118	92	0	3	6	52	59	0	0	9	43	68
DICOS	123(6)	106	86	0	0	3	44	59	0	0	6	44	56
DICOM	110(19)	120	109	0	0	3	37	80	0	0	5	44	72
合計	527(25)	481	91	0	7	28	202	246	1	3	34	193	249

※設問 III-I および III-II の 1～5 は、5 が満足度・達成度ともに最も高く、1 が最も低い

※回答数欄の( )内の数字は回答した聴講生の数

(1)設問 III の満足度・達成度ともに、昨年度とほぼ変わらず、平均して高い評価を受けている。

(2)難易度は適当であるとの見方が大方であった。昨年度同様、学生間の差はあるが、授業への取り組み方の工夫（ディスカッションや予習・復習）で、内容の充実と満足度が得られている。教材や研究材料からも、大きな成果と満足を得ているとのコメントが多い。加えて、議論に参加するためには、最低限の知識は必要であるというコメントもあった。

(3) 基礎知識の理解の確認のために試験を実施することで、復習が向上した。また、講義数を増やして欲しいとの意見があり、補講（講義時間延長）を行ったり、例題問題の希望があったので、例題問題を課題としている。プレゼンテーション時間超過で、ディスカッションの時間が不十分という事もあり、改善を検討したい。実際に、学生の中にも予習をきちんとこなした者とそうでないも者の授業参加度や理解度の差を感じているようである。準備が不十分である場合、授業へうまく参加できないことを自覚した学生は、メモを準備するなどの改善が見られた。学生からの意見で、ハードな授業ではあったけれども、非常に楽しい授業であったとの声もあった。

(4) 教員の意見の中で特に目立ったものを記しておく。

- ・ ビデオを使用したのは、良かった。加えて課題も出したい。
- ・ 小テストを行うという事で、復習の効果もあるようであった。
- ・ ディスカッションの機会を、増やすことは効果を望める。
- ・ 復習は望むが、実際は復習しているか否かは、疑問である。
- ・ シリバスに、どのような学生向けであるかを、明記する必要もあるかもしれない。
- ・ 課題の成果を報告することで、「参加」と「議論」の機会を増やす。来年度は、スライドを使用するようにしたい。
- ・ レベル的にも、難しいという声もあるが、内容理解のためにも、現状程度は、必要である。

その他の意見として、下記のようなものがあった。

- ・ 大学院は、抽象的、理論的な思考力を伸ばすのが、その役割のひとつであるという認識を持ってほしい。
- ・ 学生のレベルの差が大きい。
- ・ 幅広い分野を扱うことと、分野を深く掘り下げることのバランスは、重要である。受講者が多く、登録・聴講者の人数制限も必要である。
- ・ 学生の授業参加態度は、良いと思われる。